

2013年度

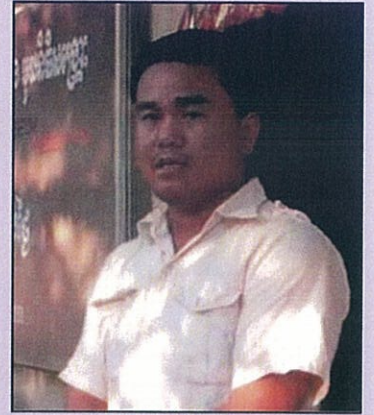
秋学期国際協力セミナー

10月25日(金)3限 第1学舎F402

(岩崎記念館4階)

カンボジア・地雷撤去活動家

アキ・ラー (Aki Ra) 氏



「カンボジアの地雷問題から、

日本の平和問題について考える」

※英語による講演です

秋学期第1回国際協力セミナーは、カンボジアの地雷除去活動家として知られるアキ・ラーさんをお迎えし、外国語学部と共催で行います。カンボジア・シェムリアップ州郊外にて「地雷博物館」を設立・運営している氏に、自身の兵士としての体験や地雷除去活動についてご講演いただきます。

氏は幼少時代、クメール・ルージュの兵士として戦い、無数の地雷を埋められました。脱退後は自身の償いから独学で地雷除去について勉強し、単独でしかも独自の方法で地雷撤去活動を行われます。

2008年にはNGO「CSHD」を設立して地雷撤去のライセンスを取得し、現在は国際基準に則って地雷撤去活動を続けておられます。

また、カンボジアの地雷問題を多くの人に伝えるべく、「地雷博物館」の運営を始め、館内のリリーフセンターでは地雷被害者や戦争孤児を始めとする多くの子供達の養育を行っています。

今回の来日では、日本の人々にもカンボジアの地雷問題について理解してもらうこと、そして日本での平和問題について考えてもらうことを目的としておられます。

※クメール・ルージュ (フランス語: Khmer Rouge)

かつて存在したカンボジアの政党。正式名称はカンボジア共産党。内戦時代を経て、左翼諸勢力間の権力抗争および肅清の結果、クメール・ルージュといえば事実上「ポル・ポト」のグループと同義語になった。他の共産党系勢力の名称との類似から混乱を避けるために指導者の氏名からポル・ポト派とも言われる。(Wikipedia より)

《主催：国際部 共催：外国語学部 後援：在大阪カンボジア王国名誉領事館》